

記者発表資料 1枚

平成30年5月10日
福島県土木部建築住宅課

大熊町大川原地区の帰還者向け住宅団地においてコミュニティ形成を支援するため高校生のアイデアによるストリートファニチャーを製作・設置します

1 目的

大熊町へ帰還する住民の入居者同士のコミュニティ形成支援として、高校生がストリートファニチャー（屋外家具）を考えて製作するとともに、高校生に木工職人の加工技術を継承する。

また、原子力災害による避難の状況と今後の帰還の見通しについて、高校生が直接見聞することで、本県が直面する社会問題を学習する機会を提供する。

2 参加主体

- ・主催：福島県及び大熊町
- ・参加学生：県内の建築系工業高校4校から34人
- ・協力団体：福島県木材協同組合連合会（以下、「県木連」）

3 ストリートファニチャーの内容

安全性を確保すれば、ベンチやテーブルなどに限らずどんなものでも製作可能。
（高校生の自由な発想による斬新な屋外家具ができるかも）

4 出前授業の概要

(1) 出前授業1

大熊町が町の現状や復興に向けた取り組み等を紹介した後、県が整備の進む団地の設計等について解説する。

(2) 出前授業2

県木連の組合員が木工技術の基礎等について講義を行う。

参加高校	(人数)	出前授業1 (町、県)	出前授業2 (県木連)
勿来工業高校	(9名)	5月11日(金)10:40~11:30	5月25日(金)10:40~14:00
郡山北工業高校	(6名)	5月18日(金)11:50~14:15	6月1日(金)11:50~15:15
会津工業高校	(14名)	5月28日(月)13:00~14:50	6月11日(月)13:00~14:50
喜多方桐桜高校	(5名)		

(3) 今後の予定

木工職人の指導の下、高校生がアイデアを出し合いストリートファニチャーの設計を進め、県木連から支給を受けた材料により製作する。完成後、現地に設置予定。

【問合せ先】土木部 建築住宅課（担当者）主幹 遠藤 裕之
電話 024-521-8634 内線 5345 FAX 024-521-7955